

# 男の料理

男の料理教室は、定例コースと初級コースがあり、それぞれ毎月1回、主に団塊の世代の男性を対象に実施しています。講師は、料理研究家の出倉弘子さんです。

定例コース:「台所仕事人」を目指そう！を合言葉に、魚の三枚おろしは勿論、様々な家庭料理に挑戦しています。定期的に参加する方やベテランの参加が多くなっています。

初級コース:包丁も持ったことがない人などを対象に実施しています。全くの初心者やあまり自信のない方の参加が多くなっています。

今後の予定…お申し込み・お問い合わせは、ふくい・くらしの研究所まで

<定例企画>福井県生活学習館(ユアアイ・ふくい)3階調理実習室にて

月	月日(曜)	時間	テーマ
11月	11/20(金)	18:30~21:00	福井の魚で一本勝負！自宅で作る魚料理
	11/21(土)	10:00~12:30	
12月	12/11(金)	18:30~21:00	手作りで暮れのおもてなし
	12/12(土)	10:00~12:30	
	12/12(土)	13:30~16:00	本格そば打ち&キムチ作り
1月	1/8(金)	18:30~21:00	先人の知恵、現代人に足りないものたっぷりのふるさと家庭料理
	1/9(土)	10:00~12:30	

<初級企画>食のよろず研究所(松本通り大滝病院前)にて

月	月日(曜)	時間	テーマ
11月	11/26(木)	10:00~12:30	魚何本でも勝負！！
1月	1/28(木)	10:00~12:30	基本から手取り足取り

## 編集後記

リーマンショックから1年、さらに雇用不安が拡がる中で、続々と団塊世代が定年退職を迎えています。当研究所が実施した消費動向調査の最新データ(10月22日現在、有効回答数1190)によると、45~55歳の「70歳以上の高齢者がいる」世帯は51.6%、55~65歳では30.1%となっており、定年を迎えた退職者には、親の介護をどうするのが大きな問題となりそうです。また、それ以上に、団塊の世代自身の介護が必要になった時を考えると末恐ろしいものがあります。(大)

※ある日の男の料理教室での会話

Aさん:『介護施設で働いていたが、入所待ち名簿が100人以上あった』

Bさん:『病院は3ヶ月入院している人を転院させないと補助金が出ないらしい』

Cさん:『親の介護をしたが大変だった。この教室に通う理由は、自分が元気で健康でいて子供に負担をかけたくないと思ったから。』

Aさん:『入所申し込みの方は、拝みます頼みますだった。家庭破壊の姿が透けて見えた。』

Cさん:『夜中に徘徊はするし、一時も目を離せないからそれは良く分かる』

Aさん:『これから先、施設は今の倍は必要』

Dさん:『とにかく、働きづめだったから、定年後に動きを止めたらすぐぼけてしまう』

Bさん:『人との交わりをすること、新しいことに取り組むことが大切だ』